

第1回

里山里海湖リーダーズカレッジ 2015
(人と生きものが共生する里山里海湖講座)

- 1 日 時 : 平成27年7月6日(月) 18:30~20:00
- 2 会 場 : AOSSA (アオッサ) 6階
福井市地域交流プラザ 607 研修室
- 3 テーマ : 「さがし出そう、地域の宝を！」
- 4 講 師 : 岸川 政之 氏
(百五銀行営業渉外部顧問・皇學館大学特命教授・
元多気町まちの宝創造特命監)
- 5 参加人数 : 44名
- 6 内 容 :

7月6日(月)午後6時30分からAOSSA6階607研修室で(株)百五銀行営業渉外部顧問、皇學館大学現代日本社会学部特任教授の岸川政之氏を講師にお招きし「さがし出そう、地域の宝を！」というテーマで講座を行いました。

今年度第1回目目の講座で、30歳代から70歳代まで幅広い年代からの受講がありました。岸川先生は、三重県多気町役場に在職中、高校生レストラン「まごの店」やその先輩が運営する惣菜とお弁当の「せんぱいの店」などを次々に仕掛けられ、現在も地域おこしに熱心に取り組まれています。

講演では最初に、「高校生レストラン」としてテレビドラマ化された舞台裏をDVDでわかりやすく解説していただきました。その後、岸川先生の地域おこしにかかる熱い思いを話していただきました。

今回の受講者の中には、東京都からわざわざ駆けつけられた熱心なファンの方もおられました。受講者のアンケートからはわかりやすい実体験談、バイタリティを感じたという意見がありました。



第2回

里山里海湖リーダーズカレッジ 2015
(人と生きものが共生する里山里海湖講座)

- 1 日 時：平成27年8月21日（金）18：30～20：00
- 2 会 場：AOSSA（アオッサ）6階
福井市地域交流プラザ607研修室
- 3 テーマ：「気候変動と人口減少時代における
生態系を活用した防災減災」
- 4 講 師：吉田 丈人 氏
(東京大学総合文化研究科広域システム科学系准教授)
- 5 参加人数：36名
- 6 内 容：

8月21日（金）午後6時30分からAOSSA6階607研修室で東京大学総合文化研究科広域システム科学系の吉田丈人准教授を講師にお招きし「気候変動と人口減少時代における生態系を活用した防災減災」というテーマで講座を行いました。

講演では災害と生態系の関係をわかりやすくお話ししていただきました。人口減少、少子高齢化、里山里海湖の担い手不足、既存インフラの老朽化、厳しい財政状況、すでに進みつつある気候変動という多くの課題に対して生態系を活用した防災減災が注目されているという内容でした。受講者からは、生態系インフラ、グリーンインフラ等新しい考え方を知ることができたという意見がありました。受講者は土木関係者や地域でNPOとして活躍されている方など多岐にわたっており、インフラ整備についてはそれぞれの立場による考え方の違いもありましたが、活発な意見交換会もできました。

最近頻繁に発生している最近の自然災害のメカニズムを知るうえで大変貴重な内容であったと思いました。



第3回

里山里海湖リーダーズカレッジ 2015
(人と生きものが共生する里山里海湖講座)

- 1 日 時：平成27年9月11日（金）18：30～20：00
- 2 会 場：AOSSA（アオッサ）6階
福井市地域交流プラザ607研修室
- 3 テー マ：「茶畑景観・茶文化・人とのふれあい体験を通じて
行ってみたい茶源郷づくり」
- 4 講 師：木村 宣 氏
(京都府和束町雇用促進協議会事務局次長)
- 5 参加人数：27名
- 6 内 容：

9月11日（金）午後6時30分からAOSSA6階607研修室で京都府和束町雇用促進協議会事務局木村宣次長を講師にお招きし「茶畑景観・茶文化・人とのふれあい体験を通じて行ってみたい茶源郷づくり」というテーマで講座を行いました。

木村氏は、生涯学習こそが「地域コミュニティ」の再生に必要なものであるという信念から、箱もの行政に頼らない「生涯学習のまちづくり」を目指し、現在生まれ故郷の京都府相楽郡を中心に、コミュニティビジネスによる地域再生に取り組まれています。

和束町では、地域住民の「やりたいこと、つたえたいこと」をエネルギーに転換して、「茶のまち和束」を最大限に活かした新たな産業を創出し、農村体験型またはインバウンド観光交流人口の拡大による雇用の創出を図っています。また、「飲む」お茶から、「食べて」「見て」「体験して」「楽しむ」お茶の郷づくりを目指し産地から茶文化を発信し茶業の6次産業化による雇用の拡大を図っています。

参加者からは、「時間がたりないぐらいでした」「楽しく話が聞けて大変良かった」「和束町へ行って、和束茶を飲んでみたくなった」という感想がありました。



第4回

里山里海湖リーダーズカレッジ 2015
(人と生きものが共生する里山里海湖講座)

- 1 日 時：平成27年10月4日（日）13：30～15：00
- 2 会 場：AOSSA（アオッサ）6階
福井市地域交流プラザ607研修室
- 3 テーマ：「多摩ニュータウン炭焼き考」
- 4 講 師：祐乗坊 進 氏
(一本杉炭焼き倶楽部代表、東京農業大学客員教授、
(有) ゆう環境デザイン計画代表)
- 5 参加人数：25名
- 6 内 容：

10月4日（日）午後1時30分からAOSSA6階607研修室で一本杉炭焼き倶楽部代表祐乗坊進氏を講師にお招きし「多摩ニュータウン炭焼き考」というテーマで講座を行いました。

祐乗坊氏は、ゆう環境デザイン計画代表、東京農業大学客員教授としてご活躍の傍ら、20数年以上にわたり多摩ニュータウンにある一本杉公園から出る間伐材を利用して炭焼きの活動をされています。きっかけは縁もゆかりもない何十万人という人たちが集まってできた多摩ニュータウンを安住の地「ふるさと」にしたいという思いからだそうです。

自然の恵みからなる炭焼き活動をとおして、大人だけでなく、小中学生に対してもふるさとの心を育てる取り組みを紹介していただきました。また、最近備蓄燃料として注目されている炭の性質や効果、活用についてもわかりやすく説明していただきました。

参加者からは、「人とまちと自然とのつながりを密にしていくことが福井が元気になる素だと再確認しました」「これから団体に炭を焼こうと思っているので大変参考になりました」という感想がありました。



第5回

里山里海湖リーダーズカレッジ 2015
(人と生きものが共生する里山里海湖講座)

- 1 日 時：平成27年11月10日（火）18：30～20：00
- 2 会 場：AOSSA（アオッサ）6階
福井市地域交流プラザ607研修室
- 3 テー マ：「世界遺産における自然と文化の融合」
- 4 講 師：吉田 正人氏
(筑波大学大学院人間総合科学科世界遺産専攻教授)
- 5 参加人数：40名
- 6 内 容：

11月10日（火）午後6時30分からAOSSA6階607研修室で筑波大学大学院人間総合科学科世界遺産専攻の吉田正人氏を講師にお招きし「世界遺産における自然と文化の融合」というテーマで今年度最終回となる講座を行いました。

吉田教授は、筑波大学大学院の教授を務めながら、国際自然保護連合日本委員会（IUCN-J）の会長や日本自然保護協会の代表理事という要職を兼ねておられます。

今、世界遺産や日本遺産が注目を浴びていますが、講座では世界遺産条約の成り立ちから、世界遺産条約における文化遺産と自然遺産の定義、世界遺産条約における文化と自然の乖離と融合、日本における複合遺産登録の可能性に至るまで壮大なテーマを受講者に大変わかりやすく講義していただきました。

価値観の異なる各国が人類の普遍的な価値を共有することは難しいことです。日本で当たり前と思われていることが国際社会では当たり前でないこともお話から学び取ることができました。受講者からは「世界遺産のことが体系的にわかりやすく理解できた」「福井県の東尋坊や白山、白山信仰、泰澄大師を結んで世界遺産に登録するにはどうしたらいいか知りたい」という意見がありました。

